

議員定数及び議員報酬について（経過）

- 1、議会運営委員会 令和元年5月16日（木）午前10時
委員より定数・報酬について議会改革も含め検討すべきとの意見があり、会派で持ち帰り検討するよう依頼
- 2、議会運営委員会 令和元年6月5日（水）午前11時
会派で相談した結果を説明
北杜クラブ 33万へ戻す、定数はその後でまだ触れない
ともにあゆむ会 前向きに、33万へ、定数含めて検討
公明党 報酬・定数は一緒に考えるべき、具体的に審議して進める
共産党 報酬・定数検討すべき、議会改革の一つとして検討
明政クラブ 厳しい財政、定数減すべき、報酬について検討すべき
ほくと未来 定数・報酬議論してもらいたい、一つずつでも進められれば選挙に影響するので任期1年前までに
無所属の会 議会改革の中で検討すべき、報酬・定数一緒に検討すべき
- 3、議会運営委員会 令和元年6月13日（木）午後2時30分
定数及び報酬について成り手不足の解消や市民の民意を伝えるために必要な定数について検討する必要があることを説明
- 4、**全員協議会** 令和元年6月21日（金）午前10時
議会運営委員会に諮った、改選に間に合うよう議会運営委員会に進め方も含め諮問したい
報酬・定数セットで審査してもらいたい、18人・33万で審査してもらいたい
- 5、議会運営委員会 令和元年6月27日（木）本会議終了後
議長から議会運営委員会へ諮問を行う
遅くも3月までに
県内や人口が同様の自治体の資料を求められる
- 6、議会運営委員会 令和元年7月17日（水）午前11時
参考として町村議会議員の議員報酬等のあり方検討委員会の報告書を説明
全協などで一般議員へ説明する必要がある

- 7、議会運営委員会 令和元年8月6日（火）午前10時
 韮崎市・甲斐市の概要及び県内の定数・報酬一覧を説明
 方向性は調査してから
 目標を定め、説明できるように
 議長は市長に相談してほしい
 全員で協議していく必要がある、会派で方向性の話し合いを
 韮崎と甲斐は熱心に協議している、市民参加もある、市民アンケートは方向が
 決まれば協議する
 覚悟を持って取り組む、目標を持って進めるべき

- 8、議会運営委員会 令和元年8月27日（火）午前11時
 今までの経過及び市長を比較した活動日数・報酬額説明
 市民に知ってもらうためにも議長・議員の各種特別委員会や休日イベントなど
 を考慮すべきであり市長にも伝えるべき
 過去から借金を改善するため努力してきたため報酬について触れてこなかった
 ことを加味すべき

- 9、**全員協議会** 令和元年8月27日（火）午後1時30分
 議会運営委員会での協議内容を説明

- 10、議会運営委員会 令和元年9月5日（木）午後2時30分
 活動日数について各種特別委員会算定しなおしたものの説明
 議会運営委員長から議長宛文書作成して指摘を依頼

- 11、議会運営委員会 令和元年9月26日（木）本会議終了後
 今後進めていく方法について、市民の意見の徴収を HP・議会だよりで12月中
 実施して2月上旬検討する
 定数は自治体の実情で決めているため、市民から意見を求めるには数字は出さ
 ない方がいい
 今までの経過を市民に知らせた方がいい
 議会運営委員会で進める（市民の意見を聞く、議会運営委員会から議長へ、議長
 から市長へ、議会運営委員会・全員協議会開催する）

- 12、議会運営委員会 令和元年10月11日（金）午後2時
 パブリックコメント実施についての期間・方法を確認
 議員はノータッチ（受領しない）

- 13、**全員協議会** 令和元年10月11日（金）午後2時30分
パブリックコメントの実施について期間・方法説明
他市の状況がないと市民が判断できないが
議会運営委員以外の議員に意見を求めてもらいたい
- 14、議会運営委員会 令和2年1月20日（月）午後1時
パブリックコメントの要旨一覧表を説明
全議員に配布し全員協議会で協議すべき（資料は全文とし個人情報消す、全員協議会までに見てもらうため郵送する）
- 15、**全員協議会** 令和2年1月28日（火）午前10時
郵送した資料を説明し、議員から意見を求める
全員で意見を言える場がいい
委員会設置の場合は定例会中に結論となるため時間ない、議会運営委員会は3月までとなった、定数は会派で検討し全員協議会で協議
拙速すべきでない、パブリックコメントは尊重すべきでじっくり考える、定数は改選後に委員会設置して時間かけるべき
定数は任期前、報酬は審議会だと認識している、パブリックコメントも実施したため3月中に決めたほうがいい区切りとしたい、期限を決め方法を決めてもらいたい
全員の認識が必要、コミュニケーションを図り方向性をお願いしたい
全員協議会では個人の意見を聞いてもらいたい
現在の議員が責任を持って進めていく必要がある
定数減らしてもいいと思っている、甲斐・葦崎時間かけた、個人の意見尊重してもいいのでは、20人・葦崎程度の額
定数22人・報酬現状の個人意見ある
進め方は議会運営委員会にお願いしたい、
甲斐・葦崎に習うべき、多く勉強する必要がある、2年ほどかけるべきとの声を聞いている
パブリックコメントを実施したため、早く示す責任は議会にある
市民に答えを示すべき、報酬11月には答え出してもらいたい
慎重に、会派で検討していくべき
市民に議論見えるようにしてもらいたい
定数は特別委員会設置して議論すべき、市民にはプロセスを見せるべき、3月までには時間ない

議会運営委員会に任せるという結果だった、様々な意見あるので懇親的・懇談的な協議の場をお願いしたい（本音を言える場）

会派で議論して議会運営委員会で方向性をもっている

全員一致で議会運営委員会に任せ本日となった、会派でまとめる必要はある

パブリックコメントはHPで公開

16、議会運営委員会 令和2年2月28日（金）午前10時

各会派の話し合いの結果

北杜クラブ 定数について話し合いがまだ必要、報酬については議長から状況等を市長に伝えていただき審議会に任せる

ともにあゆむ会 報酬については市長に任せる、定数は拙速で今回では早い、現状の数で次の議会に継続すべき

公明党 報酬と定数をセットで審議する、定数削減の方向にすべき（具体的な数は検討中）、報酬は審議会にかけるべき

日本共産党 全員で検討・研究し今後引き続き検討すべき、定数削減しない方向で、報酬審議会に任せるのは賛成（報酬額の具体的な数字はない）

明政クラブ 定数20名が望ましいが審議がまだ必要、報酬もセットでと考える、報酬は審議会に任せる

ほくと未来 3月に結論出すべき、報酬は市長へお願いしたい、定数は覚悟を持って結論出すべき、広い地域のため22名で

無所属の会 全員で議論すべき、定数は削減の方向であるが検討中、報酬は市長に増額の方向で検討してもらいたい、報酬・定数セットで議論すべき

6月から協議を継続して行っており、パブリックコメントも実施してきた。市民の声を聞き、自らも勉強をする中で、議運の委員として個々に熟慮し北杜市議会として市民に対して責任を持って結論を出すべき。次の議員選挙を検討している方に対しても、3月までに結論を出す必要があるとの意見集約がなされ、無会派の議員にも意見を聞き次回検討する。議運では3月に結論出すこととする。

